

先端技術と職人技能の融合による革新的生産ライン 外部連携による技術の高度化とニーズ対応の両立

同社は、精密切削加工用の治具である回転センターの生産では国内シェア50%超を誇る。日本を代表する多数の工作機械メーカー・自動車製造メーカー等に信頼されるほどの高精度な加工技術を持ち、積極的な設備投資や大学との共同研究や工作機械メーカーとの連携による新製品開発など工作機械治具分野における独自技術の開発にも余念がない。他業種企業のM&Aにも積極的に近年も金融機関等の呼びかけに応じて自動車部品メーカーのM&Aを実施するなど、同社の事業拡大はもとより地域雇用の維持にも寄与している。

所在地	愛知県名古屋市中村区岩塚町字九反所55番地	設立	1948年
電話/FAX	052-411-1196 / 052-412-8882	資本金	1,000万円
URL	http://www.futamura.co.jp/	従業員数	64人
代表者	代表取締役社長 二村 忠宏		



ブランド化により商品の高精度と多様性を訴求

同社が生産する回転センターは、精密加工に用いられ、高い精度保証を求められる。同社は、高精度三次元座標測定機や表面粗さ・輪郭測定機等の精密測定器の積極的な導入を図り、微細領域までの高精度の機械加工を実現するなど職人技術の継承に努めてきた。併せて、製品は自社ブランドの「イーグルスター」を冠して販売することでエンドユーザーからの認知度向上と高付加価値化を実現。豊富な製品ラインナップにより、汎用的な工作機械から特殊設備までどのような用途にも対応可能な点も顧客から高く評価されている。



自社ブランドの「イーグルスター」

先端設備導入により加速する職人技能継承と多品種生産体制

CNC 研削盤やNC 旋盤などの自動化設備を積極的に導入しながら工場内のラインや人員の配置を最適化することにより、生産プロセスの省力化やリードタイム短縮に継続的に取り組んでいる。また、CAD/CAM ソフトウェア等分析装置とマシニングセンタ等が組み込まれたラインを構築しながら職人の暗黙知の形式化に努めると同時に、後任者たちへの技能承継を加速させてきた。このようにしてエンドユーザー各社のニーズを捉えた特注品のスピーディーな設計～量産を実行しながら、多品種生産体制を整備している。



生産ラインの様子

産産連携・産学連携で新たな回転センター需要の掘り起こしを目指す

近年、同社は旋盤メーカーとの共同研究による「高剛性スリーブ一体型回転センター」の開発を成功させ、自動車部品メーカーに対する製造工程の短縮やコスト低減の提案力を高めてきた。加えて回転センターに新たな機構構造を付加する「高付加価値回転センター」の共同研究にも大学や工作機械メーカーと取り組むなど次世代製品の開発を矢継ぎ早に進めている。このように積極的な産産連携・産学連携を進めることで外部の知見やリソースを取り込みつつ、技術の高度化とニーズ対応の両立を実現してきた。



回転センター